東大駒場友の会

秋の講演会・保護者交流会

2026 11.22 駒場祭2日目 日

東京大学駒場キャンパス
18号館ホール

第1部

10:30 ― 11:30

定員:180名
参加費:無料

東大生のその先に

—在学生・卒業生との対話が生み出すリアル—

メディアや記事でスポットライトを浴びることが多い「東大生」。しかし、彼らは大学を卒業した後、一体どのような分野へと進み、どのようなキャリアを築いているのでしょうか。
本講演会では、現役の東大生と卒業生たちが登壇し、彼らの「リアルな今とこれから」に迫ります。

細野 正人先生

東京大学教養学部 高度学術員

筑波大学大学院修了。博士（ヒューマンケア科学）。認定精神保健福祉士、公認心理師の資格を持つ。
現在は東京大学駒場学生相談所に所属し、障害のある学生への支援業務に深く従事している。
専門的な知見と現場での経験をもとに、現代の学生たちが抱える様々な課題やメンタルヘルスケアに向き合い続けている。

第2部

11:30 ― 13:00
定員:130名｜参加費:無料

保護者交流会

保護者の皆さま同士の
交流の場です。
お気軽にご参加ください。

第3部

14:00 ― 15:00

定員:180名
参加費:無料

快の哲学と依存症研究

現在、様々な依存症が問題になっています。実は社会そのもの、特に経済体制が依存症的であるという指摘があります。
この講演では依存症という現象を通じて現代の問題に迫るとともに、いま私たちに必要とされていると思われる「快の哲学」について考えたいと思います。

國分 功一郎先生

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授

1974年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。
主な著書に『スピノザ 読む人の肖像』（岩波新書、第11回河合隼雄学芸賞受賞）、『中動態の世界――意志と責任の考古学』（医学書院、第16回小林秀雄賞受賞、第8回紀伊國屋じんぶん大賞受賞）、『暇と退屈の倫理学 増補新版』（太田出版、第2回紀伊國屋じんぶん大賞受賞）、『ドゥルーズの哲学原理』（岩波書店）など。

第4部

15:10 ― 16:30
定員:50名（抽選）
参加費:2,000円

國分先生を囲む茶話会

会場:18号館オープンスペース

講演後、國分先生を囲んで、気軽に語り合える茶話会です。
ぜひご参加ください。

全プログラム 東大駒場友の会 会員限定！

※同伴者は 1 名様までご参加いただけます。
※学生は対象外です。

申込方法

右記のQRコードまたは東大駒場友の会Webサイトよりお申し込みください。
受付は10月1日(木)12：00に開始し、定員になり次第締め切りといたします。
なお、第4部の茶話会は抽選となります。

未入会の方も、この機会にぜひご入会をご検討ください

東大駒場友の会
Webサイト

主催：東大駒場友の会　協力：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部